

# L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X hamacro パッケージ

2015 年 1 月 19 日

hamano

## 目次

---

1	はじめに	2
2	使い方	2
2.1	pandoc での利用方法 . . . . .	2
2.2	Re:View での利用方法 . . . . .	3
3	用例	3
3.1	フォント . . . . .	3
3.2	リンク . . . . .	4
3.3	quote 環境 . . . . .	4
3.4	verbatim 環境 . . . . .	5
3.5	verbatim60 . . . . .	5
3.6	verbatim40 . . . . .	5
3.7	コードリスティング . . . . .	5
3.8	リスト . . . . .	6
3.9	テーブル . . . . .	7
3.10	水平線 . . . . .	7
3.11	画像 . . . . .	7
3.12	数式 . . . . .	8
4	レイアウト	9

# 1 はじめに

---

これは私が本や文書を組版する際に利用する L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X のスタイルパッケージです。

80 文字ピッタリおさまる verbatim 環境や、各種プログラミング言語のコードハイライティングなど、主にプログラミングに関する文書に適しています。

既存の L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 文書で簡単に利用できることと、pandoc や Re:View が出力する L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X で利用することを想定していますので、新しいマクロを定義するというよりも既存のマクロや環境を書き換えています。

このパッケージは Apache ライセンス 2.0 で配布していますので、利用、改変、部分的なコピーなど自由です!

## 2 使い方

---

hamacro.sty を然るべき場所に配置し、プリアンブルに

```
\usepackage{hamacro}
```

と記述するだけでこのドキュメントの様なスタイルで組版できます。

具体的な用例は [example.tex](#) を参照して下さい。

### 2.1 pandoc での利用方法

このスタイルは pandoc で生成した TeX にも適しています。ですので markdown で書いた文書を手軽に PDF に組版できます。例えば [memo.md](#) を変換して [memo.pdf](#) を生成できます。

詳しくはこちらのサンプルディレクトリを見てください。

- <https://github.com/hamano/hamacro/blob/master/examples/memo/>

## 2.2 Re:View での利用方法

# 3 用例

---

## 3.1 フォント

### 3.1.1 deluxe フォント

- 明朝体 (ヒラギノ明朝 W3)
- 明朝太字 (ヒラギノ明朝 W6)
- ゴシック (ヒラギノ角ゴ W3)
- ゴシック太字 (ヒラギノ角ゴ W6)
- **ゴシック極太 (ヒラギノ角ゴ W8)**
- 丸文字 (ヒラギノ丸ゴ W4)
- 明朝細字 (ヒラギノ明朝 W2)

### 3.1.2 書体

- ファミリー
  - ー ローマン体
  - ー サンセリフ体
  - ー タイプライター体
  - ー 明朝体
  - ー ゴシック
- シリーズ
  - ー ミディアム
  - ー ボールド

### 3.1.3 文字修飾

- 普通の文字 (normal)
- 強調 (emph)
- 打ち消し線
- 上付き

### 3.1.4 フォントサイズ

- Windows でコンピュータの世界が広がります。(tiny)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(scriptsize)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(footnotesize)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(small)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(normalsize)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(large)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(Large)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(LARGE)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(huge)
- Windows でコンピュータの世界が広がります。(Huge)

## 3.2 リンク

[http://localhost/  
example.com](http://localhost/example.com)

## 3.3 quote 環境

“ 吾輩は猫である。名前はまだ無い。  
どこで生れたかとうんと見当がつかぬ。

### 3.4 verbatim 環境

半角 80 文字がちょうど収まるサイズにしています。コマンドラインやソースコードを示す場合は verbatim 環境よりも listings を推奨します

```
012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
```

フォントが小さくなって嫌だ、という方のために 60 文字がちょうど収まる verbatim60 と verbatim40 を用意しています。

### 3.5 verbatim60

```
012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
```

### 3.6 verbatim40

```
0123456789012345678901234567890123456789
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
```

## 3.7 コードリスティング

### 3.7.1 コマンドライン

```
# uname --machine
x86_64
```

### 3.7.2 C

```
#include <stdio.h>

int main(int argc, char *argv[]){
    printf("Hello World!");
    return 0;
}
```

### 3.7.3 Python

```
def hello():
    print('Hello World!')

if __name__ == '__main__':
    hello()
```

### 3.7.4 80 文字テスト

01234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789

## 3.8 リスト

### 3.8.1 列挙リスト

- りんご
- みかん
- バナナ

### 3.8.2 順序リスト

1. 睦月
2. 如月
3. 弥生

### 3.8.3 定義リスト

Monday 月曜日

Tuesday 火曜日

Wednesday 水曜日

## 3.9 テーブル

### 3.9.1 普通のテーブル

セル 1	セル 2	セル 3
セル 4	セル 5	セル 6
セル 7	セル 8	セル 9

表 1 キャプション

### 3.9.2 longtable

果物	値段	個数
バナナ	134 円	10 本
オレンジ	210 円	10 個

## 3.10 水平線

### 3.11 画像

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X

## 3.12 数式

1. 総和

$$\sum_{i=1}^n i = \frac{n(n+1)}{2} \quad (1)$$

2. 質量とエネルギーの等価性

$$E = mc^2 \quad (2)$$

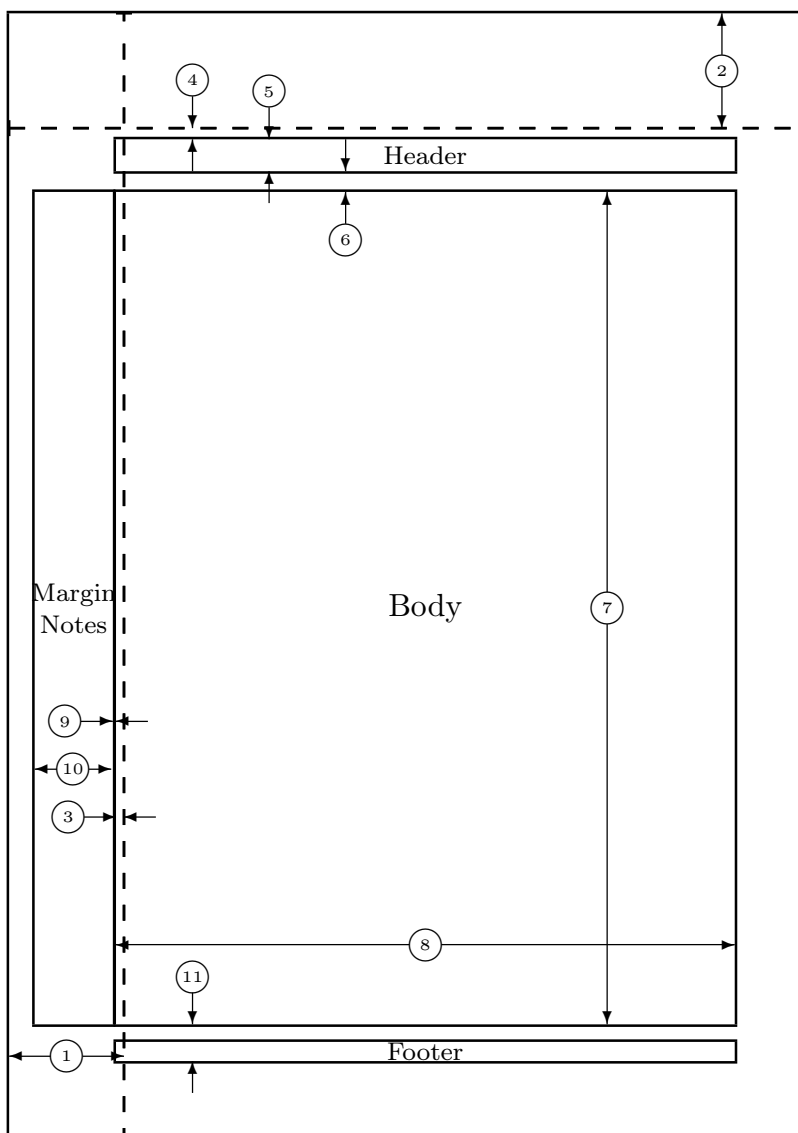
3. 波動方程式

$$\frac{\partial^2 z}{\partial t^2} = c^2 \left( \frac{\partial^2 z}{\partial x^2} + \frac{\partial^2 z}{\partial y^2} \right) - \mu \frac{\partial z}{\partial t} \quad (3)$$

4. 文章中に突然の  $e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$  オイラーの公式



## 4 レイアウト



1	one inch + \hoffset	2	one inch + \voffset
3	\oddsidemargin = -5pt	4	\topmargin = 7pt
5	\headheight = 20pt	6	\headsep = 13pt
7	\textheight = 522pt	8	\textwidth = 388pt
9	\marginparsep = 2pt	10	\marginparwidth = 49pt
11	\footskip = 23pt		\marginparpush = 0pt (not shown)
	\hoffset = 0pt		\voffset = 0pt
	\paperwidth = 497pt		\paperheight = 704pt